

認知症の非薬物療法

著者	北川 公子
雑誌名	NICかわらばん
巻	329
発行年	2008-06-07
URL	http://hdl.handle.net/10631/779



新潟県立看護大学

老年看護学 北川公子

残念ながら今のところ
認知症を治す治療薬は見
つかっていません。アル
ツハイマー型認知症に対
してアリセプト®という
薬が使われていますが、
これも症状の進行を遅ら
せる薬なのです。

薬を用いた治療
を薬物療法とい
うのに対して、薬を使わ
ず症状の改善や進行予防
を目指すかかわりを非薬
物療法、あるいは代替療
法といいます。認知症に
対して、園芸療法、動物
介在療法(ペット療法)、
化粧療法、運動療法、回
想法など、多くの非薬物

認知症の非薬物療法

療法が試みられています。
有資格者や専門家によっ
て行われる専門的なもの
から、そうでないものま
でいろいろですが、刺激
の少ない日常を送りがち
な認知症の人にとって有
効性は高いようです。

ここでは「療法」うん

ています。でも、
せっかく保たれ
ている記憶も、
思い出すことが

ないと、どんどん失われ
てしまいます。古いアル
バムや思い出の品を見な
がら、思い出話を引き出
してみてください。歌を
歌うことも、記憶を刺激
するとても有効な方法で
す。

②「運動や遊び」

体を

動かす
ことに
よって、

ぬんにとらわれず、認知
症の人とご家族とが、と
もに楽しんで行えるもの
をご紹介しますと思いま
す。

①「思い出話」 認知症

の人は、新しいことを覚
えるのは苦手ですが、昔
の記憶は比較的、保たれ

低下している脳の血流も
促進されます。外出によ
る気分転換や骨粗しょう
症の進行予防にもつなが
ります。散歩のほか、ス
トレッチを盛り込んだ体
操、ゲームの要素を取り
入れた遊びりテーション
などが手軽な運動メニユ

1です。
③「昔取ったきねづかに
働きかける」言葉によ
る思い出話が苦手な人
も、長年、身についた動
作や行為は症状が進んで
も保たれている場合が多
いといわれています。例
えば、ぞうきんを絞る、
野菜のみじん切りをする、
などです。重度の認知症
なのに、般若心経を朗々
と唱える方に出会ったこ
ともあります。もちろん、
みじん切りができるから
といって料理のすべてが
できるわけではありません
。その人が得意とする
ワザを見つけ、行っても
らい、そのことを賞賛す
る。認知症の人が、「誰か
の役に立つことができ
た」と実感できる機会と
もなります。